

我が班の安全活動

岡崎営林署 瀬戸担当区 基幹作業職員 小幡昭美
森本文男

1. はじめに

瀬戸担当区班は、基職4名、内女子1名と定期1名の5名である。59年4月より中津川営林署瑞浪担当区と合併した班で、1年の大半は瀬戸担当区で作業しているが、本年度は犬山担当区へ併記で約1ヶ月、中津川署の瑞浪担当区へ署間流動で約3ヶ月行っている。

59年7月に収穫調査中災害が発生し、6年9ヶ月続いた無災害が断ち切れてしまった。この災害を契機として安全に対する機運が高まり、我が班の安全に対する取り組み、考え方が正しかったか全員で話し合った。

私達の取り組みは、すでに、どこでも実行されている活動で、特別めあたらしいものではないが、その結果と内容を報告する。

2. 安全に対する取り組み

安全は人に押しつけられて慢然と実行するものでなく、自分達が進んで取りくみ、実践するものだというのが、班全員の中で芽生え、全員で協力してやる。

それには、まず、安全に関することは、どんなことでも遠慮しないよう、自分の意見を出し、また、人の意見も良く聞き、みんなでやろうと決めたことは必ず守ることである。

また、道具類の改良など、改めの安全活動を積極的に進めることとした。

(1) 安全活動について

① 安全衛生の年間目標の取りくみ

各人が、DDV運動も含めて、1ないし2項目を年間目標として、表にし、ミニバスと休憩所に掲示しておき、月1回、自分でチェックし実行されていない場合は、反省も含めて目標達成に努分する。また、班員もお互いに協力し達成することになっている。

月別安全目標も、全員が話し合いで決め、全員が守ることにした。

② TBMの内容の充実

TBMが班長の指示、連絡という形式的に流れがちであったものを、全員参加のTBMにするため、今日の作業の箇所について、各人が注意しなければならない点を出し合い、みんなで確認して守ることにした。

この様に変更してからは、内容が充実し、明るい、TBMができる様になった。

③ シートベルト着装、声かけ運動

運転手と助手席の者が、シートベルトをしてから発車していたが、道交法の改正から、後部座席に乗車した者も着装する指導になったので、どうしたら、みんながシートベルトができるか、また、それを確認できるか検討したところ、後部座席に乗車した者が、シートベルトを着装完了したら「ベルトよし」の合図で発車することにした。

現在では、全員が着装する様になった。

④ 血圧、体重測定

自己健康管理を目的に緑十字の日、安全懇談会等を利用して、自主的に測定し、その都度表に記入し、掲示している。

このことによって成人病予防に役立つのではないかと続けている。また、TBMにおいて、各人の健康状態を確認して、健康な明るい職場づくりに努めている。

⑤ 安全衛生標語の自発的応募

毎年、標語の募集に対し、全員が2～3点を考え、積極的に応募し、局及び署においても、毎年入賞している。

⑥ 災害多発時間の注意合図

災害多発時間の傾向をみると、午前11時頃と、午後2時頃に多いので推進員が呼笛で注意合図して、全員に喚起させ、災害防止に努めている。

⑦ 指差確認と呼唱の定着

指差確認と呼唱が、なかなか定着できなく主任にも入ってもらい、実行できる方法を検討し、意見を出し合った。

なかには「声が出て、手が出ない者」、「項目が多すぎて、忘れてしまう」などと言う意見も出たが、項目をとばしてもいいから、何んでも一声、一指出して見よう、始めから100点は取らなくても言うことではじめた。現在では、100点とはいかないが、100点に近づいている。

(2) 作業道具の改良(工夫)と利用

① 砥の粉落しに、ペンキのハケ使用

刃物を砥いだあと、砥の粉を落すのに、ボロ切れでふき取っていたが時々、指等の切傷があり、危険なため刃物に直接ふれない方法がないかと考えた。「ペンキハケを使ってみたら」と言う案が出て、使用したところ、安全なことがわかり、現在では全員が使用している。

② 柄にスベリ止めゴムの取り付け

下刈鎌等の柄に、自転車用のチューブを利用して、すべり止めを取りついたり、刃の近くに赤テープを巻き、握りのはみ出し禁止の標示をしたところ鎌の大振り等をやらなくなり、

基本動作に忠実になり、災害防止になっている。

③ かかり木処理用器具の使用

この器具は、担当当区先輩が55年度業務研究発表したものであるが、松くい虫被害木伐倒や、保育間伐はほとんどと言っていいほどかかり木になるので、伐倒作業には、神経を使っている。そこで考案されたのが「かかり木引き落とし器」である。この器具は、かかり木のおそれのあるものについて、伐倒前に取りつけておく。このことにより、かかり木になる割合も半減し、安全面においてもよくなり、効率的な作業ができる。しかも、軽量で便利なことから、常時使用している。

④ 鎌立て利用

休憩時等全員が集まる場所に鎌立てを作っておき、全員がまとめて立て掛けておくことにした。材料は、近くの立木2本に除伐木1本をしぼったもので簡単にできる。そうすることにより、各人、ばらばらに置いた鎌も1ヶ所になり、足元などの危険が減ってきた。

3. ま と め

以上のように、ほんの小さい取りくみどがあるが、安全活動や、作業道具の改良等、積極的に出し合い、検討して、みんなで決めたことは必ず実行している。

今までは、班の雰囲気も良くなり、公私を問わず遠慮なく話しができる明るい職場になった。

これからも、班全員で無災害の職場をめざしてがんばりますので、みなさまの御指導をお願いし、以上で発表を終わります。



